平成 29 年度第 5 回東名古屋医師会地域包括ケア検討委員会 議事録

平成 30 年 2 月 19 日(月)

午後 2 時～

於：東名古屋医師会事務所

出席者(順不同・敬称略)

- 委員長：笹本 基秀 (東名古屋医師会 会長)
- 副委員長：牧 靖典 (東名古屋医師会 副会長)
- 委員：水野 正明 (名古屋大学 総長補佐 教授) (欠席)
- 村居 巖 (愛知医科大学 医療相談部)
- 都築 晃 (藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター) (欠席)
- 池田 寛 (藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター)
- 青山 淳一 (愛豊歯科医師会 会長代理)
- 西村 成弘 (瀬戸歯科医師会 長久手歯科医会 代表代理)
- 平井 佳彦 (瀬戸旭長久手薬剤師会 副会長)
- 森 道成 (日進東郷豊明薬剤師会 会長)
- 川本 賀津三 (日進市地域福祉課 課長) (欠席)
- 柏木 晶 (日進市地域福祉課 主幹) (欠席)
- 横山 英治 (日進市東部地域包括支援センター 主任介護支援専門員)
- 加藤 知恵美 (日進市中部地域包括支援センター 保健師)
- 梅原 寛子 (日進市西部地域包括支援センター 主任ケアマネジャー)
- 中野 智夫 (長久手市福祉部長寿課 福祉部次長) (欠席)
- 井上 隆雄 (長久手市福祉部長寿課 課長補佐)
- 柴原 里織 (長久手市 愛知たいようの杜地域包括支援センター・センター長)
- 深谷 美砂子 (長久手市 社会福祉協議会 地域包括支援センター 保健師)
- 小川 正寿 (豊明市高齢者福祉課 課長) (欠席)
- 松本 小牧 (豊明市高齢者福祉課 課長補佐)
- 田中 貴教 (豊明市南部地域包括支援センター 社会福祉士)
- 眞野 潤 (豊明市中部地域包括支援センター 主任介護支援専門員)
- 高桑 民世 (豊明市北部地域包括支援センター 主任介護支援専門員)
- 近藤 克也 (東郷町長寿介護課 課長)
- 杉本 めぐみ (東郷町長寿介護課 介護保険係長)

土井 肇 (東郷町地域包括支援センター センター長)
松井 陽典 (愛知県瀬戸保健所 総務企画課 主査) (欠席)
石黒 孝康 (瀬戸旭医師会 在宅医療中核センター コーディネーター)
永井 修一郎 (東名古屋医師会)
祖父江 良 (東名古屋医師会 副会長) (欠席)
金山 和宏 (東名古屋医師会) (欠席)
松浦 誠司 (東名古屋医師会)
田貫 浩之 (東名古屋医師会)
井手 宏 (東名古屋医師会)
木下 雅盟 (東名古屋医師会)
嘉戸 竜一 (東名古屋医師会) (欠席)
村井 良則 (東名古屋医師会 在宅医療サポートセンター コンダクター)

(1) 委員長挨拶 (笹本会長)

- ・3月で医療介護総合確保基金による事業(医師会による在宅医療サポーターセンター事業)が終わり、4月～次年度から全ての市町村で事業(介護保険法に基づいた在宅医療介護連携推進事業)を実施することになっています。これまでこの会議～委員会を通じて、この地域における多職種連携も含めた事業の展開をしてきたわけですが、この形では最後の委員会となります。
- ・平成30年度からの東名古屋医師会における在宅医療～介護連携推進体制については、後ほど在宅医療サポートセンターの村井コンダクターから説明がありますが、ここで概要についてご説明します。まず東名古屋医師会医療介護総合研究センター(略称:東名医総研)(愛称:やまびこ)を設立いたします。そして推進組織として、在宅医療・介護連携支援センター連絡協議会(地域包括ケア検討委員会を改組)、在宅療養支援医療機関連携委員会(在宅療養支援診療所連携委員会を改組)、警察・消防との連携促進のための協議会(新設)、死体検案検討委員会(継続設置)を設置いたします。豊明市と東郷町とは、藤田保健衛生大学との共同運営である「豊明東郷医療介護サポートセンター かけはし」と連携していきます。日進市と長久手市につい

では各々東名古屋医師会が委託を受け、「在宅医療・介護連携支援センター」を設立して、連携～協働（一体的に運営）していきます。メンバー等については現在検討中ですので、ご協力をお願いします。

- ・在宅医療～介護連携推進体制について、これまでの取り組みを継続しつつ、さらに事業を構築してまいります。今後、この会議についても、組織を改組ということで、メンバー等も少し変わるかもしれませんが、どうかよろしくをお願いします。
- ・本日は、ICT～電子@連絡帳関連の専門の会社の方がオブザーバーとして出席されています。

(2) 豊明市「いきいき笑顔ネットワーク」の現状について（A委員）

<資料：電子@連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）>

- ・導入実績：登録機関 167 機関、登録患者数 641 人、記事の累積 12,750 件で順調に運用中。
- ・直近の運用等では大きな変更なし。
- ・最近登録患者数で増えているのは、認知症初期集中チームに上がった方のケースで、電子@連絡帳を活用して実施しております。

(3) 長久手市「愛・ながくて夢ネット」の現状について（B委員）

<資料：電子@連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）>

- ・導入実績：登録機関 127 機関、登録患者数 407 人、記事の累積 18,432 件で微増、前回からそれほど大きな変化はない。
- ・新規開業の都度声をかけて、登録してもらっています。
- ・4月から始める認知症初期集中チーム事業にも十分に活用していきたいと考えています。

(4) 日進市「健やかにつしん・ヘルピーネット」の現状について

（C委員）

<資料：電子@連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）>

- ・導入実績：登録機関 103 機関、登録患者数 59 人、記事の累積 783 件。
- ・登録機関で特に歯科医師会のご協力により増加しております。

(5) 東郷町「レガッタネット とうごう」の現状について（D委員）

<資料：電子@連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）>

- ・導入実績：登録機関 63 機関、登録患者数 30 人、記事の累積 1,018 件、微増で運用中。
- ・大きな動きはないが、新規事業所にも案内をして関与して頂けるようお願いをしている。

(6) 各市町の 29 年度在宅医療介護連携推進事業の進捗について

（各市町委員）

<資料：管内市町における在宅医療・介護連携推進事業等の進捗と展望>

<資料：地域包括ケア（在宅医療・介護連携推進事業等）推進組織一覧>

～豊明市～

[推進組織一覧]

- ・組織体制は前回と変わりなし。
- ・調査研究委員会の役割は、豊明市の地域包括ケアにかかる様々な課題を抽出することで、現在は昨年度実施した介護保険事業計画策定に伴う住民任意調査の分析について検討しています。

[進捗と展望]

◆在宅医療・救急医療連携セミナー（厚労省医政局）（2/4）

- ・前回 10/22 に引き続き 3 者（市、藤田保健衛生大学、消防）で参加。
- ・3 者（市、藤田保健衛生大学、消防）で情報の共有等の協議を進めたい。
- ・平成 30 年度から、豊明市消防も尾三消防に加入する。
- ・独居の高齢者の状況～服薬状況や既往歴、現病歴～等の情報をデータベースに上げておいて、消防隊が緊急時に検索～閲覧出来るようなシステムを、一緒に開発していく。

◆多職種合同ケアカンファレンス（地域ケア会議）

- ・月2回（包括版第3水曜日、居宅版第4木曜日）。
- ・参加者：高齢者福祉課、地域包括支援センター、医師、薬剤師、歯科医師、理学療法士、保健師、看護師、介護支援専門員等。

（E委員）

- ・平成30年度から長久手市消防も豊明市消防と共に尾三消防に加入することになっています。当医師会も平成30年度から東名医総研を設立して、警察・消防との連携促進を図っていこうと考えています。連携～検討は、豊明市だけではなくて、この地域をまとめて話し合いができればと思いますので、その際にご協力をお願いします。

～長久手市～

[推進組織一覧]

- ・組織体制は前回と変わりなし。

[進捗と展望]

◆医療・介護・福祉ネットワーク運営協議会

- ・(7/11、12/19)に開催。

◆研修部会

- ・(6/22、7/12、8/10、9/12、11/7、1/10)に部会を開催。
- ・(7/18)電子@連絡帳について、(10/26、12/20、3/8)嚥下機能について（専門職向け）
- ・(9/2、9/9、9/16、9/23)愛知医科大学公開講座、(2/25)東名古屋医師会市民公開講座（市民向け研修）

◆事例検討部会

- ・(5/25、7/7)に部会準備会を開催。(9/20)以降月1回（第3水曜）に開催。
- ・包括の事例について多職種で検討し、地域課題の抽出を行っている。

◆入退院調整部会

- ・(4/18、7/11、10/12、1/23)に開催。
- ・近隣の病院のMSW、市内居宅ケアマネ等で退院時の連絡調整について検討している。

◆愛・ながくて夢ネット交流会

- ・(8/16、9/12、11/14、12/19) に部会を開催。
- ・(10/11) 交流会 71名、(1/14) 交流会 50名参加

[展望(センター構想等)]

◆在宅医療・介護連携支援センターについて、医師会と意見交換会を実施

(5/9、6/27、9/12、12/4)、連携支援センターの設置に向けて、業務内容等について検討。

⇒東名古屋医師会への事業委託の方向で協議を進める。

◆初期集中支援チームの設置に向けて、対象者の選定方法、様式等について検討中。

(委員長)

- ・入退院調整部会はうまく機能していますか。

(B委員)

- ・各病院によってシステムの違いがあるので、一律にはできませんが、それらの情報を共有して、どのようにルールを作っていくかという段階です。長久手市だけではなくて近隣の地区も含めて考えるべきではないかという意見も出て検討しております。

～日進市～

[推進組織一覧]

- ・組織体制は前回と変わりなし。

[進捗と展望]

◆地域包括ケア検討会議

- ・第1回7/24、第2回9/25、第3回11/27、第4回3/15(予定)開催。
- ・総合事業、生活支援体制整備事業、在宅医療・介護連携推進事業、認知症施策推進事業等について検討。

◆在宅医療・介護連携に関する検討部会

- ・第1回7/3、第2回3月(予定)開催。
- ・在宅医療・介護連携支援センター設置、認知症初期集中支援チーム配置、医療介護の連携事業の今後の展開等について検討。

(電子@連絡帳)

- ・ 4/24 医師会日進支部会、6/29 歯科医師会日進支部会にてシステム導入依頼。個別訪問による導入サポート随時実施。
 - ◆生活支援体制整備に関する検討部会
 - ・ 第1回 6/19、第2回 3月(予定)開催。
 - ・ 総合事業、介護予防、生活支援、認知症施策等について検討。
 - ◆医療と介護の多職種連携研修会
(東名古屋医師会日進支部・愛豊歯科医師会日進支部・日進市薬剤師会)
 - ・ 第1回 2/15、第2回 4/30、第3回 7/30、第4回 12/21に開催。
 - ◆地域出前講座
(東名古屋医師会日進支部・愛豊歯科医師会日進支部・日進市薬剤師会)
 - ・ 10/14: 東山、3/10(予定): 北新町で開催。(平成28年度は、2/4: 五色園、3/18: 南ヶ丘で開催)
 - ◆市民向け理解促進講演会
 - ・ 3/29(予定)開催。介護予防講演会として企画(運動器を中心とした健康づくり)。
- [展望(センター構想等)]
- ◆在宅医療・介護連携支援センター
 - ・ 在宅医療・介護連携支援センターに関する医師会との意見交換会(5/22、6/26)を開催。
 - ・ 在宅医療・介護連携に関する検討部会、地域包括ケア検討会議において方向性を協議(7/3、7/24)。
⇒東名古屋医師会への事業委託の方向で協議を進める。
 - ◆認知症初期集中支援チーム
 - ・ 認知症初期集中支援チーム設置に向けた支援と協力。

～東郷町～

[推進組織一覧]

- ・ 組織体制は前回と変わりなし。

[進捗と展望]

- ◆地域ケア推進会議
 - ・ 12/1、2/20(予定)開催。

- ・第7期高齢者福祉計画策定に係る検討。
(計画素案、パブリックコメントの実施)
- ◆在宅医療・介護連携推進部会
 - ・12/25、2/5 開催。
 - ・2/17 に講演会開催 (医療と介護 みんなで支える「家での看取り」)。
- ◆在宅ケアを考える会 (多職種連携勉強会)
 - ・毎月開催 (成年後見センターの事業について、高齢者の運転免許更新について)、今後開催日に合わせ多職種カンファレンスを試行実施していく。
- ◆日進・東郷医療介護連携会議
 - ・12/15、日進市と東郷町の行政、医療機関、地域包括支援センター職員が、医療介護連携について意見交換。
- ◆国保、後期高齢者医療、及び特定健診部門との連携
 - ・町内連携をすすめ、地域包括ケアシステムの推進のための事業検討など実施していく。

[展望 (センター構想等)]

- ◆豊明東郷医療介護サポートセンター かけはし
 - ・豊明市と共同設置 (7月開所、豊明市参照)
- ◆認知症初期集中支援チーム
 - ・平成30年4月の設置に向けて検討していく。
- ◆多職種連携事業 (仮称)
 - ・医療と介護の連携、地域ケアマネジメント推進のため多職種カンファレンスの会を設置していく。(12/21 実施。3/8 実施予定)
- ◆新総合事業 (平成28年7月から事業開始)
 - ・生活支援、支え合いに関する講演会を2/3に実施。

(7) 29年度在宅医療サポートセンター事業の進捗について

(F委員)

<東名古屋医師会 在宅医療サポートセンター事業の進捗について>

1. (24時間365日対応可能な在宅医療提供体制の構築を支援)
- 医療資源の把握
- ・第3回在宅医療の提供と連携に関する実態調査 (県医師会調査) 実施。

- ・毎年度実施（9月頃）。
- ・「在宅医療実施医療機関」、「在宅医療受入れ薬局」、「訪問看護ステーション」各一覧表（詳細版）作成。

○連携推進のための調整会議

- ・地域包括ケア検討委員会開催（原則、偶数月開催）。本日が第5回。
- ・在宅療養支援診療所連携委員会開催（概ね4か月ごとに開催）。第1回は前回報告、第2回は1/22(月)に開催。

【第2回：検討事項】

- ◆在宅患者の急変時における、主治医と消防・警察との連携（取り決め）の必要性について
- ◆連携医療機関での看取りのケースと、本来のかかりつけ医の看取り件数について
- ◆在宅における管理料の算定要件をクリアするため方策について
- ◆地域包括ケアの今後の方向性について
- ◆電子@連絡帳のサーバー変更の可能性について
- ◆「訪問リハビリ」と「訪問マッサージ」の使い分けについて 等

○その他（将来展望検討等）

- ・国立長寿医療研究センター、愛知県、管内各自治体、県医師会等が開催する各種会議・研修会に出席。
- ・豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」（7月開所）との連携
- ・日進市及び長久手市在宅医療・介護連携支援センター（仮称）準備打合せ会等出席。

（構成員：日進市又は長久手市職員、医師会支部等、サポートセンター）

- ・東名古屋医師会在宅医療総合研究センター（仮称）構想検討打合せ会開催。
（内容：サポートセンターの今後、H30年度以降における当医師会が担う役割・機能等について）
- ・在宅医療・救急医療連携セミナー（厚労省医政局）（10/22、2/4）傍聴参加。
- ・県医師会在宅医療サポートセンター実務者協議会（11/15）成果報告プレゼン。

- ・医療福祉情報連携コーディネーター養成講座（医療福祉情報連携協議会）
（12/9）受講。
- ・ICTでつなぐ地域医療連携と地域包括ケアあいちサミット（3/10）参加予定。

2.（在宅医療導入研修を実施）

○認知症初期集中支援チームの効果的運用に関する研修会（国立長寿医療研究センター委託事業）

（企画・運営：本会在宅医療サポートセンター主催、管内4市町協力）

<<資料：「認知症対策地域連携研修会」プログラム>>

<<資料：平成29年度認知症対策研究・支援事業

認知症初期集中支援チームの効果的な運用に関する研究等事業

医療従事者等研修会 実施報告書>>

- ・4市町の認知症施策担当職員と打合せ（9/11、9/26、11/29）。
- ・12/14「認知症対策地域連携研修会」を開催。
- ・詳細は資料を参照ください。

○介護保険制度に関する研修会

<<介護保険制度に関する研修会>>

日時/平成30年2月3日（土）14:00～15:30

場所/医師会事務所会議室

対象者/会員医療機関の医師・スタッフ（参加者19名）

内容等/

趣旨/平成30年4月に診療報酬と介護保険の同時改訂が予定されていることから、在宅医療との関わりが深い介護保険制度について、改正内容を含めて理解を深める。

講演/介護保険法の次期改正の現状

講師/あすわひのきケアプランセンター代表 下鶴紀之氏

3.（かかりつけ医普及啓発講習会を実施）

○東名古屋医師会市民公開講座（本会事業）

<<別添資料、第14回東名古屋医師会市民公開講座>>

日時/平成30年2月25日(日)午後2時から

場所/長久手市文化の家(風のホール)

内容/とっておきの長久手、紹介します!!

4. (在宅医療に関する相談窓口を設置)

○広報・PR、相談窓口

- ・サポートセンターホームページ等内容充実(各種委員会議事録、講演会・研修会開催結果等掲載)。

→東名古屋医師会(在宅医療サポートセンター)ホームページを参照ください。

- ・パンフレット印刷、講演会等で配布「ご存知ですか?在宅医療 ~いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくために~」。

(8) 豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」の事業進捗について (G委員)

<資料:平成29年度 豊明東郷医療介護サポートセンター 事業報告書>

- ・前回(12/11)以降を追加しました。
- ・(12/16)に第1回多職種人材育成研修会開催、89名参加、「地域包括ケアの動向について」「東郷町をとりまく高齢者の現状について」講演、グループワーク~「多職種理解のための模擬担当者会議」を開催。
- ・(1/13)に同職種会合同研修会を開催、76名参加、各種連絡協議会の活動報告の後~グループワークにて望まれる活動内容について~多職種からの意見を出し合い~検討。
- ・(2/4)に第2回在宅医療・救急医療連携セミナーに参加(厚生労働省医政局)。在宅医療と救急医療の連携の取り組みについて、先進事例の紹介。ACP(Advanced Care Planning)やリビングウィル(living will)についての講義。
- ・(2/10)に第2回多職種人材育成研修会開催、82名参加、「在宅医療介護の現場トラブルの対処法」について弁護士による講義とグループワーク。かけはしの現状報告。

- ・(3/15) に第2回多職種人材育成研修会～プログラム検討委員会を開催、多職種人材育成研修会の総括を予定。

(9) 29年度尾張東部中核センター事業の進捗について（H委員）

<資料、年齢区分別在宅患者診療料算定患者数の推移（豊明市）>

<資料、在宅医療に関する主な診療報酬の算定状況

～居宅介護支援に対する介護報酬の算定状況（豊明市）>

<資料、年齢区分別在宅患者診療料算定患者数の推移（日進市）>

<資料、在宅医療に関する主な診療報酬の算定状況

～居宅介護支援に対する介護報酬の算定状況（日進市）>

<資料、年齢区分別在宅患者診療料算定患者数の推移（長久手市）>

<資料、在宅医療に関する主な診療報酬の算定状況

～居宅介護支援に対する介護報酬の算定状況（長久手市）>

<資料、年齢区分別在宅患者診療料算定患者数の推移（東郷町）>

<資料、在宅医療に関する主な診療報酬の算定状況

～居宅介護支援に対する介護報酬の算定状況（東郷町）>

- ・3市1町の訪問診療の現状を、「国保のレセデータ」と「広域連合のレセデータ」を元に整理しました。

- ・詳細は資料を参照ください。

(10) 平成30年度からの医療介護連携推進体制について（F委員）資料あり

<資料、東名古屋医師会における在宅医療・介護連携推進体制の概要>

<資料、日進市・長久手市在宅医療・介護連携支援センター事業内容（案）>

<資料、東名古屋医師会 在宅医療・介護連携推進組織一覧（案）>

- ・東名古屋医師会医療介護総合研究センター（略称：東名医総研）（愛称：やまびこ）に関しては、医師会独自のセンターという位置付けで4月から設置します。予算額～要員～場所～推進組織～部会～事業内容については資料を参照ください。

- ・「日進市在宅医療・介護連携支援センター」と「長久手市在宅医療・介護連携支援センター」についても医師会が委託を受けて運営することになってい

ます。予算額～要員～場所～推進組織については資料を参照ください。具体的な事業内容については資料のごとく現在調整中です。「東名医総研」と連携～協働し、一体的運営を行なっていきます。詳細は資料を参照ください。

- ・「東名医総研」の推進組織である協議会～委員会の構成員は、医師会の委員～メンバーは決まっていますが、医師会以外の構成員については現在調整中です。なるべく早く決めて依頼等の手続きを取りたいと思います。
- ・「東名医総研」では、小児在宅医療勉強会や孤立高齢者支援チーム等についても検討していきたいと考えております。

(11) その他

(副委員長)

- ・救急隊と在宅医療の問題ですが、救急隊の first mission は患者の搬送ですから、救急の現場での判断は難しいと思います。でも在宅医療を受けていて電子@連絡帳に登録～記載されている患者さんであれば、それを見れば病状も主治医もある程度把握できる。このように具体的な情報が素早く把握できれば、と言ったような観点から見ていったほうが良いかと思います。

(E 委員)

- ・救急の現場で、心肺蘇生の段階～搬送するまでもない場合に、すぐに警察を呼んでしまうということになると、在宅医療を受けている患者さんにとってはよろしくない。いかにその所で「かかりつけ医」に連絡をつける等で、消防～救急隊と連携が取れば、不要な死体検案が減ると思います。
- ・認知症初期集中支援チームというのがありますが、要支援者の初期集中支援チームというのも有れば良いのではないかと思います。「かかりつけ医」がないかもしれませんが、要支援者を登録するだけでなく、多職種がチームとして関わればと良いのではないかと考えています。
- ・医師会の支部によっては、登録医療機関が少ない所もあります。そこで電子@連絡帳に支部の個別のサイト（「医師」しか入れない）を作って、支部長が支部の連絡事項を掲載して、加入しないと支部の大事な情報が伝わらない環境を整えておけば、かなりの先生に加入していただけることとなります。是非ご活用下さい。